明日の笑顔を 共に創る

地域・サプライチェーンと共に歩む脱炭素社会の実現

2025年11月4日

株式会社セブンーイレブン・ジャパン
建築設備本部　エネルギー部　斯波康弘

© SEVEN-ELEVEN JAPAN CO.,LTD.

地域・サプライチェーンと共に歩む脱炭素社会の実現

株式会社 セブン-イレブン・ジャパン

■オープニング

■第1章 「セブン-イレブン店舗の脱炭素」

■第2章 「サプライチェーンの脱炭素」

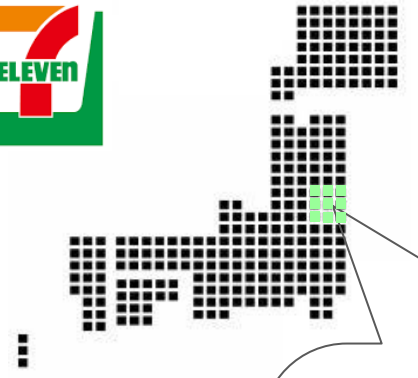
■第3章 「地域と共に歩む」

© SEVEN-ELEVEN JAPAN CO.,LTD.

会社概要

名称	株式会社セブン-イレブン・ジャパン
設立	1973年11月20日
従業員数	8,248人
チェーン全店売上	5兆3,697億56百万円
1日の売上	約150億円
1日の客数	約2,000万人 （日本の人口の約1/6）

※2025年2月期実績



国内47都道府県
21,789店
〔2025年9月末現在〕

福島県
457店

世界
85,932店 〔2025年2月末現在〕

明日の笑顔を 共に創る

© SEVEN-ELEVEN JAPAN CO.,LTD.

福島県とセブン-イレブンとの深い縁

株式会社 セブン-イレブン・ジャパン

～1号店(豊洲店)1974年5月開店から4か月後～

1974年(昭和49年)9月21日

福島県1号店　本町(もとまち)店(二本松市)開店

都道府県別出店時期

1974年　5月　東京都
　　6月　神奈川県
　　9月　福島県

店　名	オープン日	所　在　地
豊洲	49. 5. 15	東京都江東区
相生	6. 20	神奈川県相模原市
牡丹	8. 10	東京都江東区
本町	9. 21	福島県二本松市
虎丸	9. 25	福島県郡山市
横山	10. 1	神奈川県相模原市

～1号店開店から1年1か月後～

1975年6月

虎丸店(郡山市)24時間営業開始

※開店は1974年9月25日

深夜に活動するお客様のニーズに応えるために、業界の先陣を切って24時間営業の店舗を拡大

24時間営業を開始

「コンビニエンスストアとは、便利なお店である」というコンセプトのもと、時間における利便性を追求するために、1975年6月、福島県の直営店「虎丸店」で24時間営業を開始した。サウスランド社には「深夜の営業によって昼間の売上も伸びる」というデータがあったことから、虎丸店でのテスト結果をもとに、24時間営業店舗の拡大を検討した。

1975

福島県・市町村との包括協定締結 ： 2009年福島県を皮切りにのべ8自治体と締結(2025年9月末現在)

※福島県、いわき市、福島市、郡山市、こおりやま広域圏、会津若松市、富岡町、喜多方市

© SEVEN-ELEVEN JAPAN CO.,LTD.

セブン-イレブンのビジネスモデル

株式会社セブン-イレブン・ジャパン

＼店舗経営と商売に専念／　　＼店舗経営を全面的にバックアップ／

加盟店と本部の「共存共栄」

加盟店様
独立した経営者

対等なパートナーシップ

本　部

- 商品のマネジメント（発注・売場管理など）
- 人のマネジメント（採用・教育・労務管理など）
- 経営数値のマネジメント（売上・経営管理など）

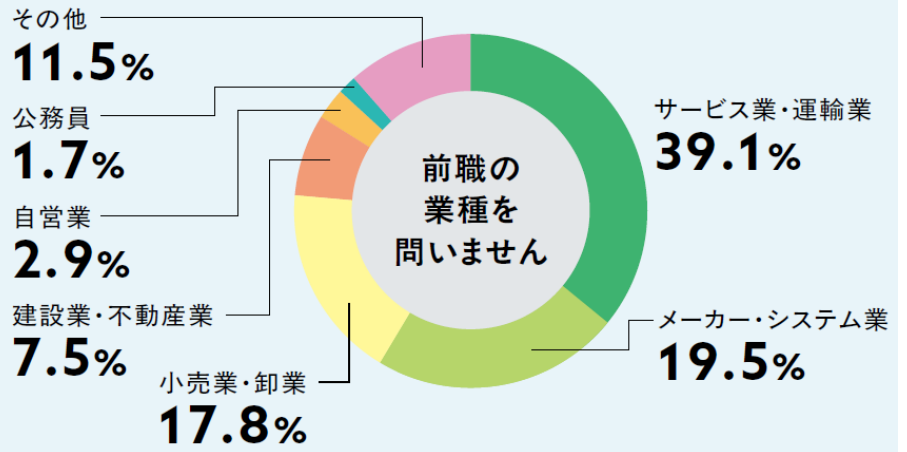
共同事業

- 経営相談サービス
- 商品開発サービス
- 仕入援助と推奨売価
- 物流ネットワークの構築
- 販売設備の貸与
- 情報システムの提供
- 広報宣伝活動
- 会計簿記サービス
- 不良品※1原価相当額の15%本部負担
- 水道光熱費の80%本部負担

※1 廃棄ロス商品

© SEVEN-ELEVEN JAPAN CO.,LTD.

前職の業種



契約更新率（2024年度）

15年更新	30年更新	45年更新
95.7%	94.6%	98.9%
580店舗	229店舗	90店舗

ほとんどの加盟店様が契約を更新されています

明日の笑顔を 共に創る

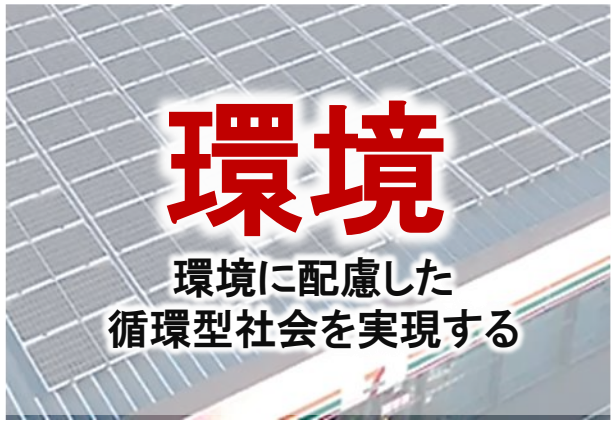
セブン-イレブン1号店開店から50年経ちました。

株式会社 セブン-イレブン・ジャパン

これまでの50年

これからの50年

その実現に向け



私達は「4つのビジョン」を掲げ、取り組んでまいります

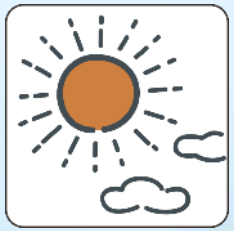
© SEVEN-ELEVEN JAPAN CO.,LTD.

明日の笑顔を 共に創る

環境宣言「GREEN CHALLENGE 2050」4つのテーマと目標

株式会社 セブン-イレブン・ジャパン

CO2排出量削減



グループの店舗運営にともなう
CO2排出量（2013年度比）

2030年目標	50%削減
2050年の目指す姿	実質ゼロ

自社の排出量（スコープ1+2）のみならず、
スコープ3を含めたサプライチェーン全体で削減を目指す

プラスチック対策

オリジナル食品で使用する容器は、
環境配慮型素材を使用

2030年目標	50%
2050年の目指す姿	100%

食品ロス・食品リサイクル対策

	食品廃棄物量（2013年度比）	食品廃棄物のリサイクル率
2030年目標	50%	70%
2050年の目指す姿	75%	100%

持続可能な調達

オリジナル食品で使用する食品原材料は、
持続可能が担保された材料を使用

2030年目標	50%
2050年の目指す姿	100%

© SEVEN-ELEVEN JAPAN CO.,LTD.

明日の笑顔を 共に創る

地域・サプライチェーンと共に歩む脱炭素社会の実現

■オープニング

■第1章 「セブン-イレブン店舗の脱炭素」

■第2章 「サプライチェーンの脱炭素」

■第3章 「地域と共に歩む」

© SEVEN-ELEVEN JAPAN CO.,LTD.

CO2排出量ランキング　2022年度

順位	社名	業種	万t-CO2
1	日本製鉄株式会社	鉄鋼業	7,340 万t
2	JFEスチール株式会社	鉄鋼業	5,305 万t
3	ENEOS株式会社	石油・石炭製造業	1,479 万t
4	株式会社　神戸製鋼所	鉄鋼業	1,438 万t
5	UBE三菱セメント株式会社	窯業・土石製造業	1,184 万t
6	太平洋セメント株式会社	窯業・土石製造業	1,117 万t
7	東ソー株式会社	化学工業	748 万t
8	出光興産株式会社	石油・石炭製造業	706 万t
9	住友大阪セメント株式会社	窯業・土石製造業	683 万t
10	株式会社トクヤマ	化学工業	610 万t
11	日本製紙株式会社	パルプ・製紙業	565 万t
12	株式会社JERA	電気業	493 万t
13	三菱ケミカル株式会社	化学工業	470 万t
14	北海製鉄株式会社	鉄鋼業	367 万t
15	三井化学株式会社	化学工業	353 万t
16	コスモ石油株式会社	石油・石炭製造業	327 万t
17	大王製紙株式会社	パルプ・製紙業	305 万t
18	住友化学株式会社	化学工業	270 万t
19	電源開発株式会社	電気業	252 万t
20	日本航空株式会社	航空運輸業	249 万t

順位	社名	業種	t-CO2
21	王子製紙株式会社	パルプ・製紙業	248 万t
22	全日本空輸株式会社	航空運輸業	239 万t
23	王子マテリア株式会社	パルプ・製紙業	230 万t
24	株式会社レゾナック	化学工業	223 万t
25	UBE株式会社	化学工業	213 万t
26	丸善石油化学株式会社	化学工業	212 万t
27	キオクシア株式会社	電子部品製造業	192 万t
28	デンカ株式会社	化学工業	183 万t
29	東日本旅客鉄道株式会社	鉄道業	181 万t
30	東レ株式会社	繊維工業	173 万t
31	AGC株式会社	窯業・土石製造業	169 万t
32	東北電力株式会社	電気業	167 万t
33	株式会社ダイセル	化学工業	159 万t
34	旭化成株式会社	化学工業	158 万t
35	鹿島石油株式会社　鹿島製油所	石油・石炭製造業	145 万t
36	JFEミネラル株式会社	窯業・土石製造業	141 万t
42	イオングループ	小売業	130 万t
45	セブンーイレブン・ジャパン	小売業	122 万t
58	株式会社ローソン	小売業	100 万t
60	株式会社ファミリーマート	小売業	100 万t

（出典）温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度 フロン類算定漏えい量報告・公表制度ウェブサイト

© SEVEN-ELEVEN JAPAN CO.,LTD.

明日の笑顔を 共に創る

CO2排出量を削減する為の「3つの柱」

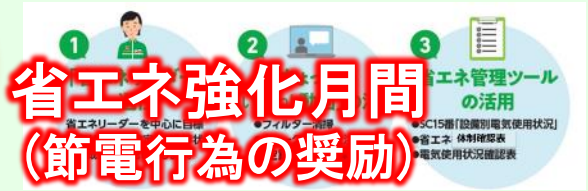
①省エネ

照明のLED化

IHフライヤー

省エネ型
チルドケース

省エネ型空調



省エネ強化月間
(節電行為の奨励)

②創エネ

屋根上
太陽光パネル

ソーラー
カーポート

垂直太陽光パネル
(積雪エリア)

蓄電池

③再エネの外部調達

21年国内初
オフサイトPPA

遊休地
オフサイトPPA

小水力発電

風力発電

オフサイトPPA：電力購入契約

明日の笑顔を 共に創る

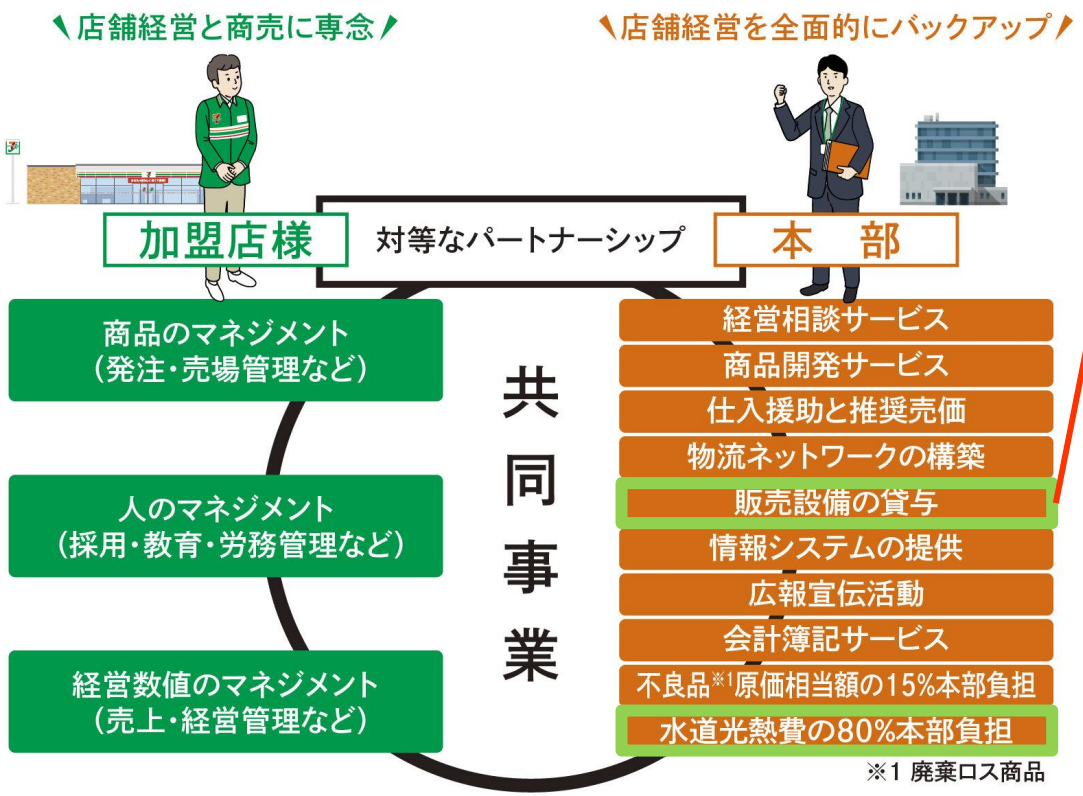
© SEVEN-ELEVEN JAPAN CO.,LTD.

①省エネ

株式会社 セブン-イレブン・ジャパン

■本部ができること　→　販売設備や建物関連の省エネ化

■加盟店ができること　→　省エネにつながる行為の実施



「販売設備の貸与」：販売設備は本部が所有
7-11オリジナル仕様をメーカーと共同開発

販売設備の省エネモデル開発

本日はこちらを
ご紹介します

明日の笑顔を 共に創る

© SEVEN-ELEVEN JAPAN CO.,LTD.

①開発事例：アイスケース上部フード

こちらの販売設備をご覧になったことはありますか？？

23年度から全店設置のアイスケース

ご注目！

銀色のフードがついていますが…
実は商品を置く棚？だけではないんです

買いやすさ(お客様)売りやすさ(お店)
さらに省エネ(お店・本部)を追求した什器

まさに
三方よし！

明日の笑顔を 共に創る

© SEVEN-ELEVEN JAPAN CO.,LTD.

①開発事例：アイスケース上部フードのコンセプト

「三方よし」とは

お客様
買いやすさ○
（売上↑）

お店
売りやすさ○
（売上↑）

お店・本部
省エネ効率○
（電気代とCO2↓）

これまでのアイスケース

一般のアイスケース

扉がないケースを開発

今回の上部フード

© SEVEN-ELEVEN JAPAN CO.,LTD.

①省エネにつながる行為

■本部ができること　→　販売設備や建物関連の省エネ化

■加盟店ができること　→　省エネにつながる行為の実施

省エネ行為

電気代は
本部8割：加盟店2割負担
最低賃金が上がる中、
後回しにしてしまう

省エネって効果あるの？
省エネするにしても人不足
従業員にできる？

ただ「省エネ」を唱えるだけでは
行動は変わらない

**加盟店オーナーに響く
アプローチを模索**

© SEVEN-ELEVEN JAPAN CO.,LTD.

①省エネにつながる行為　「省エネ行為のサイクル」を回す

株式会社セブン-イレブン・ジャパン

1)コスト意識を高める(興味)

年間コストシミュレーション
電気代が高くなる夏季も加味して
現状差額に伸長率を掛け算出

年間のコスト増加額
約●●万円！

おにぎり総収入換算
月販・　　円
日販　　円　が必要

必要おにぎり数
約●●個/日

おにぎり販売数等に置き換え
自分事としての意識を持たせる

2)省エネ行為の環境整備(準備)

換気口の確保

ウォークインカーテン設置

1度やれば継続して続く行為から実践

3)省エネ行為の習慣化(行動)

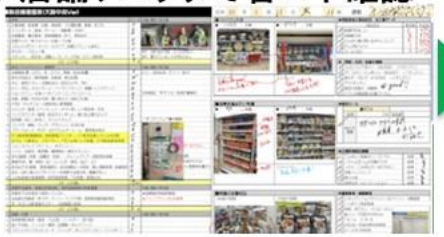
▼省エネハンドブック

▼エコシール作成

日々繰り返す仕組みづくり

4)関心を継続させる(検証)

▼店舗チェックで省エネ確認



見える場所でフィードバックする

経費削減の必要性を促し、具体的な行為が継続する「仕組み」を作る

© SEVEN-ELEVEN JAPAN CO.,LTD.

明日の笑顔を 共に創る

①省エネ行為サイクルを回す 1)コスト意識を高める

株式会社セブン-イレブン・ジャパン

▼水道光熱費を検証したところ・・・

去年よりも上がってるね…省エネした方が良いのは分かるけど…（2割負担だしなぁ）

決して否定はしないが、消極的、、、

どこか 他人事

アプローチ方法を変更

①電気代の増え幅を試算

「何も手を打たないと、
年間電気代増加額」
約●●万円！

②電気代の増え幅を身近な“おにぎり”に換算

増えた電気代分、”利益”を上げるために
約●●個/日

増加分をカバーするには●●個売らなければならないね

意識変化

ポイント 身近な『おにぎり』に置き換えて考えることで、意識変化を促す

© SEVEN-ELEVEN JAPAN CO.,LTD.

①省エネ行為サイクルを回す 2)環境整備

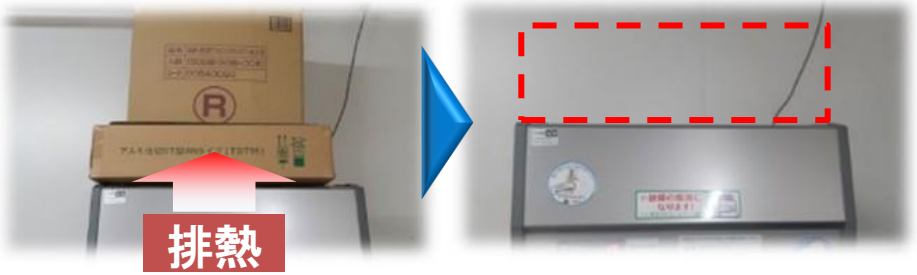
でも、何をすればよいかわからない。
従業員がずっと意識し続けるとは
思えないし…

環境を整備することで省エネになる
取り組みをご存じですか？
まず、そこからやってみましょう!!

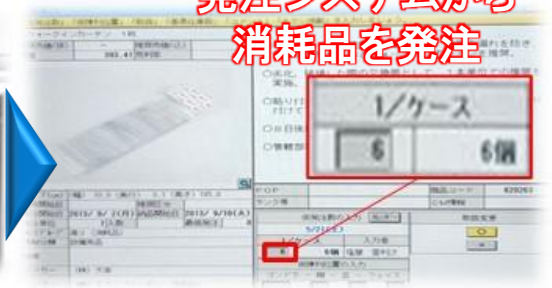
即出来る事を提案

環境整備による省エネ

上に物があると
排熱を妨げる



冷凍庫の排熱を塞いでいる段ボールを整理・整頓



冷蔵庫の入口にカーテンを設置して冷気漏れを防ぐ
（消耗品の購入）

ポイント　まずは環境を整備し、省エネができる状況を作り出す

© SEVEN-ELEVEN JAPAN CO.,LTD.

①省エネ行為サイクルを回す 3)省エネ行為の習慣化

株式会社 セブン-イレブン・ジャパン

「環境整備」から「行為」の省エネへ

課題1 何をすれば省エネになるか **分からない**

知識習得

省エネハンドブックの作成

課題2 知識はあっても現場で **忘れてしまう**

習慣づけ

20種類のエコシール作成

作業箇所毎に見る機会を作り
漏れを防ぐ

課題3 **従業員全員で取り組む**

省エネリーダーを任命

関心を持って周りを巻き込み
全員で省エネに取り組む

ポイント 『知識の習得と習慣化』が省エネ体制構築のポイント!!

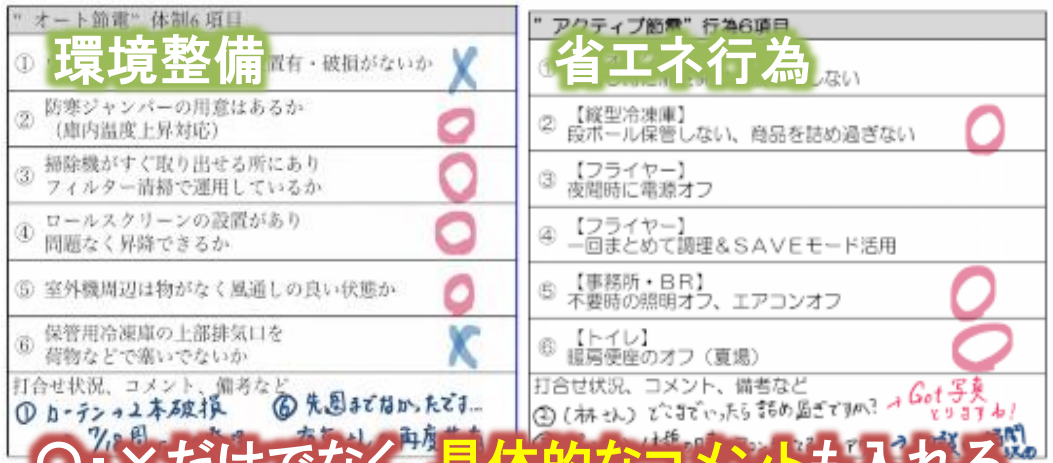
© SEVEN-ELEVEN JAPAN CO.,LTD.

明日の笑顔を 共に創る

①省エネ行為サイクルを回す 4)関心を継続させる

▼店舗確認表※で省エネ状況の確認

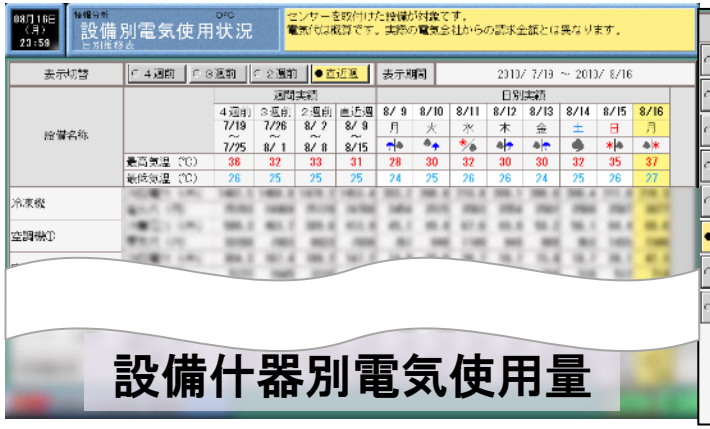
※店舗確認表：OFC(経営相談員)が清掃状況・品揃え等を確認し、
店舗に共有・改善してもらうツール

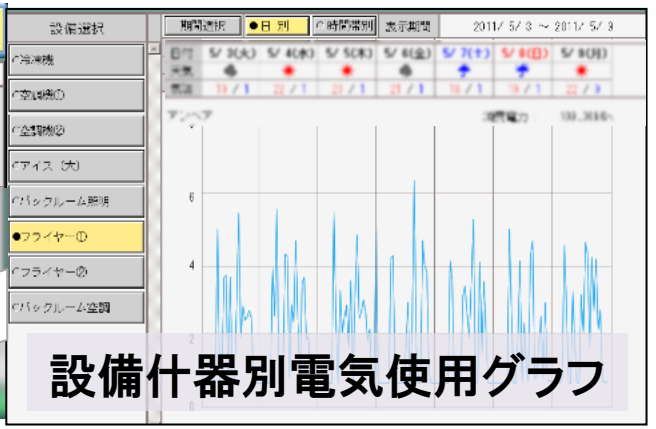


▼ポイント

・言いっぱなしにせず
必ずバックチェック
・皆が見る場所に掲示

▼電気使用量を数値検証





2011年～　電気使用量が大きい設備什器ブレーカーにセンサーを設置、
設備什器毎・店舗全体の電気使用量を「見える化」

見える化し電気の使われ方を確認
省エネに取り組み、
その成果を検証する

ポイント　関心をもって関わり続けることで習慣化し、行為が継続する

© SEVEN-ELEVEN JAPAN CO.,LTD.

②創エネ　太陽光発電

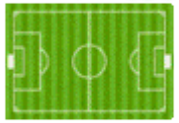
株式会社 セブン-イレブン・ジャパン

小さいけれど、これこそ地産地消のエネルギー！

屋根上太陽光発電パネル

2011年標準導入

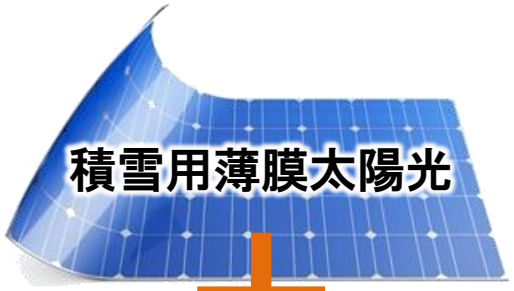
太陽光パネル総面積：38万㎡



サッカー場：54面分相当

福島県内での設置状況

今後の拡大を目指して



垂直ソーラー発電システム
（2024年8月～テスト開始）

© SEVEN-ELEVEN JAPAN CO.,LTD.

②創エネ　太陽光発電＋『蓄電池』

店舗で使用しきれない発電余剰

蓄電池

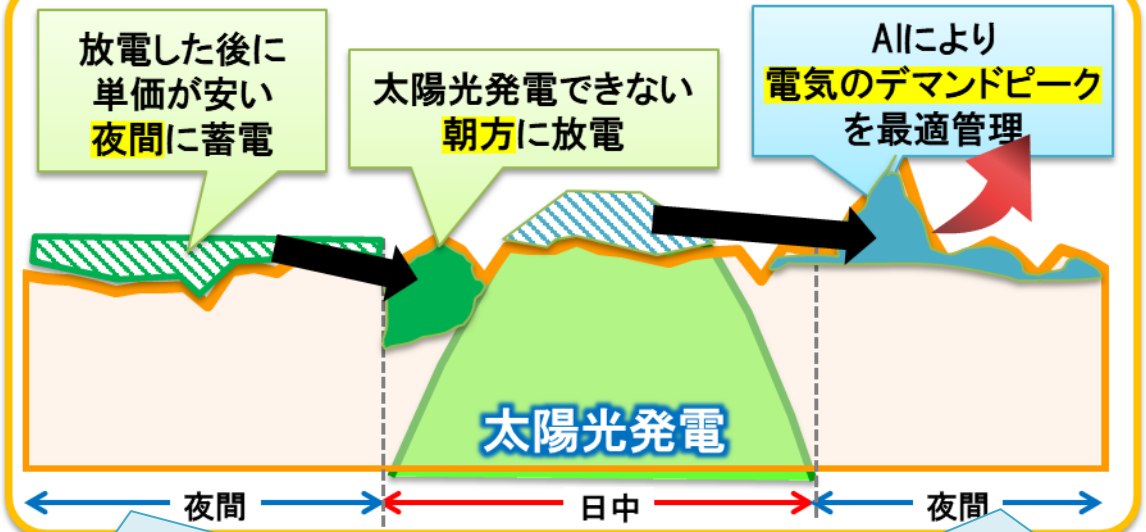
BCPだけなく

発電余剰電気を
夜間に有効活用

デマンドピーク管理＋夜間電力蓄電・放電のEMS

AI活用ｴﾈﾙｷﾞｰ
ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄｼｽﾃﾑ

予測をしながら
電池を制御

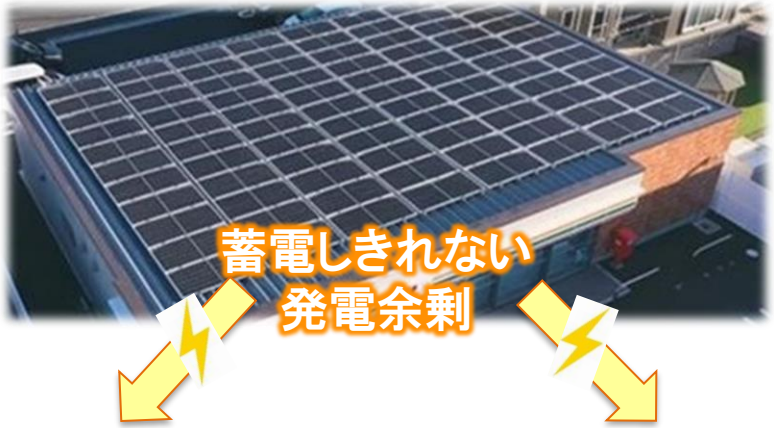


※電気使用量が少ない夜間は
電気料金が安く設定されている

デマンドピークを低減し
基本料金を抑制する

今後

店舗間の電力融通(検討中)



ビルイン店舗

チェーン全体で再エネ率向上

日照不足の店舗

パネル未設置店舗の再エネ比率向上

© SEVEN-ELEVEN JAPAN CO.,LTD.

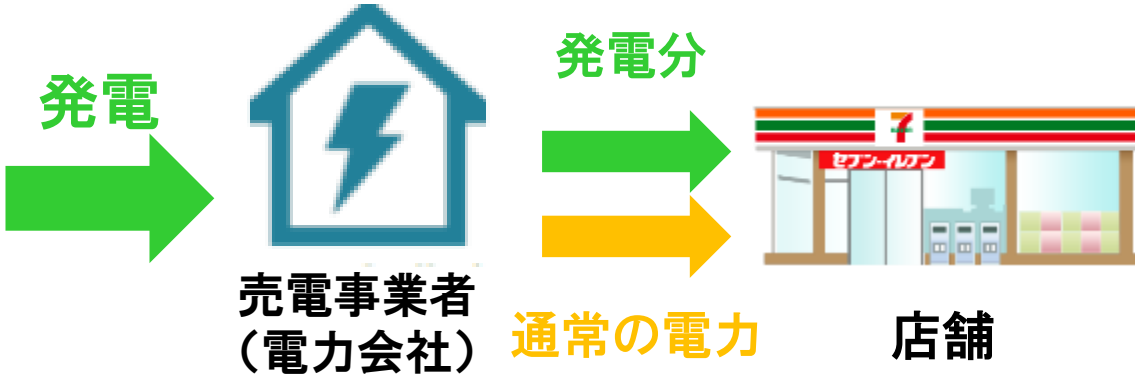
③再エネ電力の外部調達

オフサイトPPAとは

太陽光など、環境に優しい再エネ電力を外部から調達する仕組み
▶「省エネ」と「創エネ」を補完する役割

再生可能エネルギー発電所

- 「セブンーイレブン専用」の発電所
- 長期契約
- 店舗敷地外に設置



現在稼働している発電所

© SEVEN-ELEVEN JAPAN CO.,LTD.

2030年に向けての「脱炭素ロードマップ」

株式会社 セブン-イレブン・ジャパン

		2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年
店舗数	店									
総電気使用量	億kWh									
①省エネ	億kWh									
②創エネ	億									
総電気使用量（系統購入分）	億									
電気使用量（全店平均）	万									
③再エネ調達	億kWh									
排出係数	t-CO_2/kWh									
CO_2排出量	t-CO_2									
CO_2排出量（13年度対比）	%									

中間目標 **2030年 CO2排出量50%**（2013年対比）達成に向け、

目標を「見える化」して共有し、随時更新しながら進んでいます

© SEVEN-ELEVEN JAPAN CO.,LTD.

地域との取り組み「環境配慮型店舗」 福岡市での事例

株式会社 セブン-イレブン・ジャパン

福岡ももち店（2024年8月開店）

Fukuoka Green NEXT

内装：福岡市産材/ヒノキ

外装：九州産材/スギ圧縮材

最新の環境配慮型店舗

最新設備＋木造店舗

地域材の使用、普及拡大

- 行政との連携（福岡市）
- マスコミとの連携（RKB毎日放送）
- 最新のエネルギーマネジメントシステム導入

イベントも開催

木をつかう事の大切さを学ぶ

ネームプレート完成！

© SEVEN-ELEVEN JAPAN CO.,LTD.

明日の笑顔を 共に創る

大阪万博にも2店舗出店しました

株式会社 セブン-イレブン・ジャパン

万博テーマ

いのち輝く未来社会のデザイン

Designing Future Society for Our Lives

未来に向けたさまざまな挑戦の具現化
～ セブン-イレブンの「未来型店舗」～

万博店舗限定

抹茶スムージー

セブンカフェティー

みたらし団子
あん草団子

お店で作った
ソフトクリーム

カフェインレス
コーヒー

米KOUJI
ミルクラテ

サクなげ

揚げたこ焼き
（3個入り）

オリジナルTシャツ

オリジナルエコバッグ

3本ラインパッケージ

定番（日常）の安心感と限定商品（非日常）のワクワク感で演出

© SEVEN-ELEVEN JAPAN CO.,LTD.

明日の笑顔を 共に創る

博覧会協会主催『持続可能な取り組みに関する表彰』

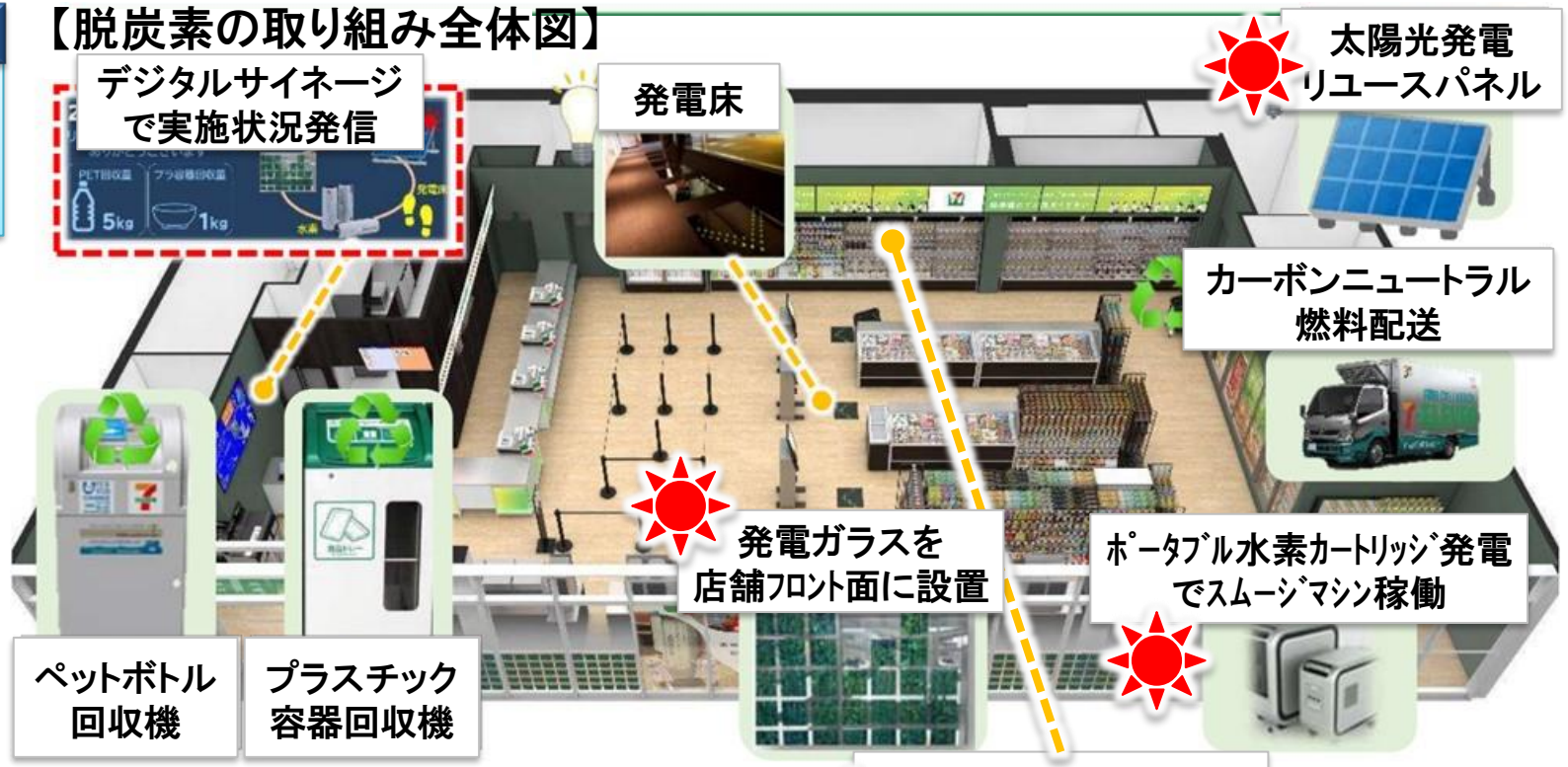
株式会社 セブン-イレブン・ジャパン

表彰の種類 （受賞数/応募数）

脱炭素部門	資源循環部門	調達部門
受賞5社/28社	受賞5社/28社	受賞5社/28社

脱炭素部門・調達部門　受賞

【脱炭素の取り組み全体図】



【脱炭素部門：受賞理由】

「コンビニエンスストアでの、水素発電や低 GWP（地球温暖化係数）冷媒、発電するガラスなど最新技術の活用と、それらをデジタルサイネージやインターネットで広報する取り組みは、脱炭素化への貢献が期待でき、全国展開の可能性を感じさせる」

© SEVEN-ELEVEN JAPAN CO.,LTD.

明日の笑顔を 共に創る

地域・サプライチェーンと共に歩む脱炭素社会の実現

■オープニング

■第1章 「セブン-イレブン店舗の脱炭素」

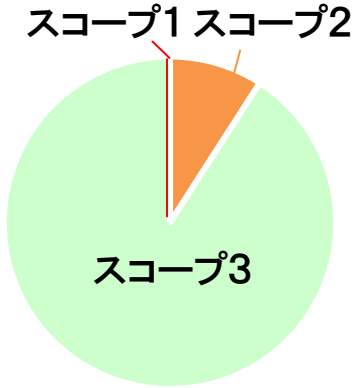
■第2章 「サプライチェーンの脱炭素」

■第3章 「地域と共に歩む」

© SEVEN-ELEVEN JAPAN CO.,LTD.

サプライチェーンにおけるCO2削減

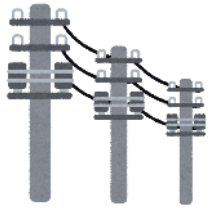
企業が環境に与える影響（CO2排出）を関わり具合で3段階に分別



【スコープ1】
燃料使用による自社での直接CO_2排出

0.05万t

【スコープ2】
自社購入したｴﾈﾙｷﾞｰによるCO_2排出



117.0万t

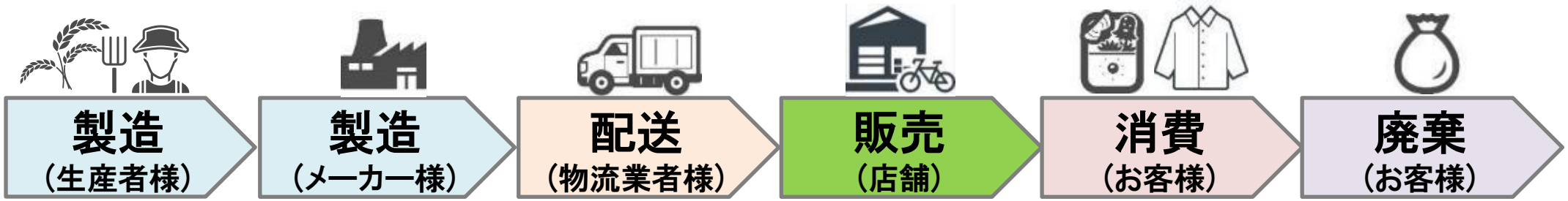
↑ 先ほど説明した領域

【スコープ3】
商品の製造・配送過程での全体CO_2排出

1,171万t

最も多い

商品の「始まり」から「終わり」までを表した場合スコープ1～3

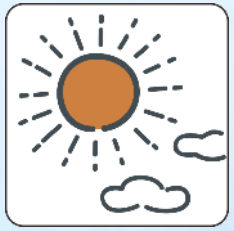


© SEVEN-ELEVEN JAPAN CO.,LTD.

環境宣言「GREEN CHALLENGE 2050」4つのテーマと目標

株式会社セブン-イレブン・ジャパン

CO2排出量削減



グループの店舗運営にともなうCO2排出量

2030年目標	50%削減
2050年の目指す姿	実質ゼロ

自社の排出量(スコープ1+2)のみならず、
スコープ3を含めたサプライチェーン全体で削減を目指す

プラスチック対策

オリジナル食品で使用する容器は、
環境配慮型素材を使用

2030年目標	50%
2050年の目指す姿	100%

食品ロス・食品リサイクル対策

2013年度比	食品廃棄物量	食品廃棄物のリサイクル率
2030年目標	50%	70%
2050年の目指す姿	75%	100%

持続可能な調達

オリジナル食品で使用する食品原材料は、
持続可能が担保された材料を使用

2030年目標	50%
2050年の目指す姿	100%

製造 → 製造 → 配送 → 販売 → 消費 → 廃棄

スコープ3 | スコープ1・2 | スコープ3

© SEVEN-ELEVEN JAPAN CO.,LTD.

明日の笑顔を 共に創る

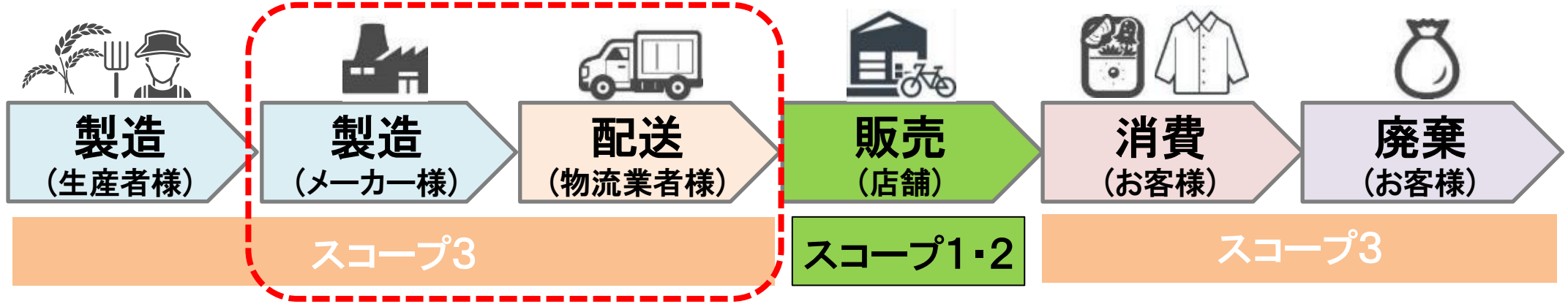
サプライチェーンにおけるCO2削減

CO2排出量削減

グループの店舗運営にともなう
CO2排出量（2013年度比）

2030年目標	50%削減
2050年の目指す姿	実質ゼロ

自社の排出量（スコープ1+2）のみならず、
スコープ3を含めたサプライチェーン全体で削減を目指す

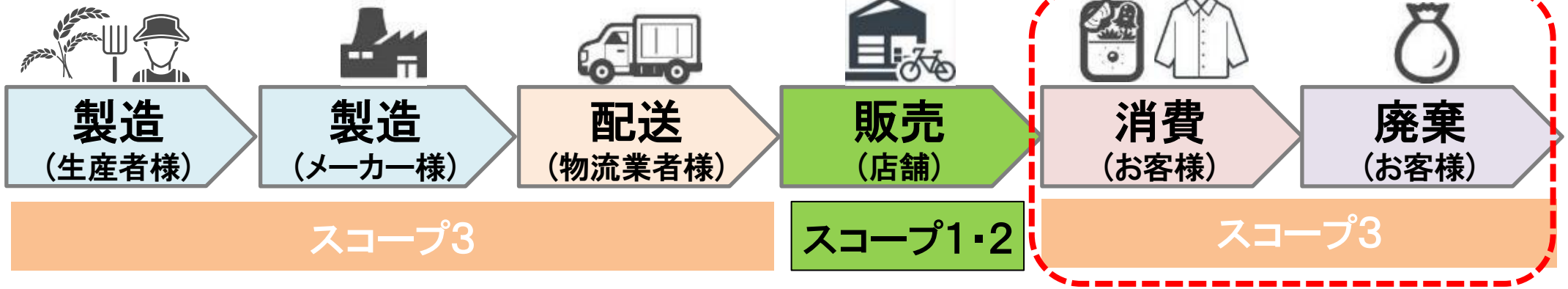


© SEVEN-ELEVEN JAPAN CO.,LTD.

食品ロス・食品リサイクル対策

食品ロス・食品リサイクル対策

	食品廃棄物量（2013年度比）	食品廃棄物のリサイクル率
2030年目標	50%	70%
2050年の目指す姿	75%	100%



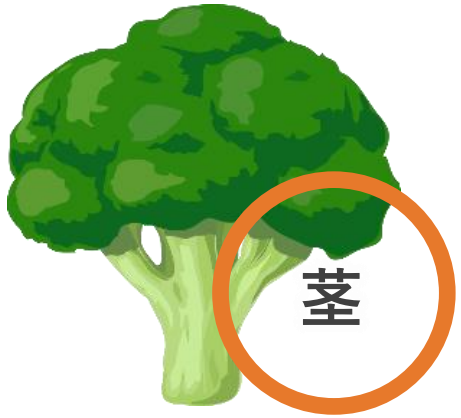
© SEVEN-ELEVEN JAPAN CO.,LTD.

明日の笑顔を 共に創る

食品ロス・食品リサイクルの取り組み

食品ロスを減らす

ブロッコリーの例

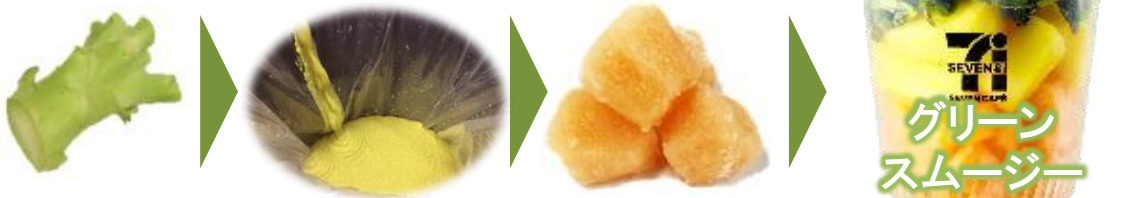


茎は使用されていない

でも味は変わらない

スムージーマシン

ピューレ化して、キューブに固める



美味しいのに**使われない部分**も**アイスキューブ**に活用

食品をリサイクルする

本来は、食品ロスの抑制が最優先。
販売期限が近付いた商品はリサイクルに

再利用

フードバンク団体寄付

飼料化

飼料化し、そこで生産した鶏卵を弁当に活用

肥料化

肥料化して、セブンファームで利用

販売期限切れ商品と廃食用油を合わせた食品リサイクル率

2022年度	2023年度	2024年度
52.4%	58.5%	60.8%

© SEVEN-ELEVEN JAPAN CO.,LTD.

プラスチック対策、持続可能な調達

プラスチック対策

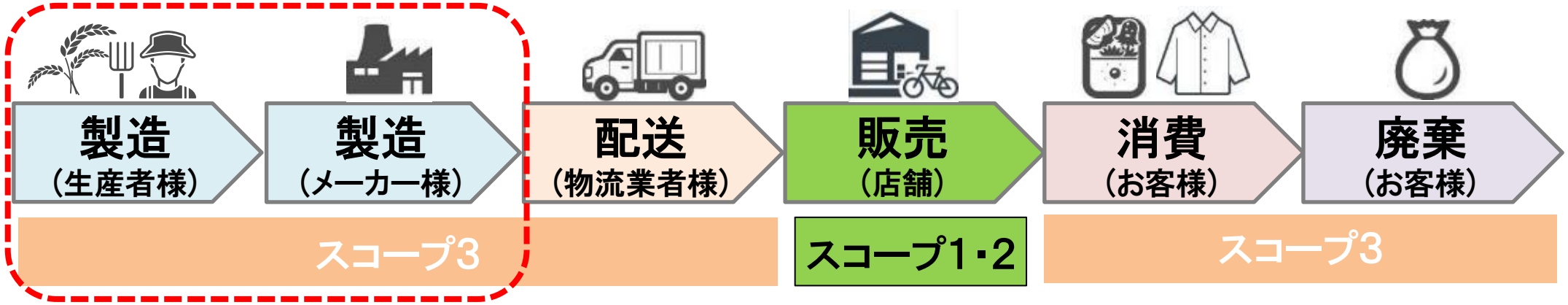
オリジナル食品で使用する容器は、
環境配慮型素材を使用

2030年目標	50%
2050年の目指す姿	100%

持続可能な調達

オリジナル食品で使用する食品原材料は、
持続可能が担保された材料を使用

2030年目標	50%
2050年の目指す姿	100%



© SEVEN-ELEVEN JAPAN CO.,LTD.

プラ対策

商品包材・容器の取り組み

株式会社セブン-イレブン・ジャパン

フィルムのプラスチック使用量削減

プラから紙への変更

チルド弁当
プラ容器⇒紙容器

サンドイッチ
一部紙を含む素材へ

バイオマス原料の活用

パスタサラダ容器

環境配慮型PET※
配合容器へ切替

※ リサイクルPET
バイオマスPET

トップシール化

プラ使用削減
＋
鮮度延長

© SEVEN-ELEVEN JAPAN CO.,LTD.

お客様参加型の資源循環 「ボトル to ボトル」

ペットボトル回収機の導入状況

4,490店舗
（25年9月末現在）

2025年全都道府県へ展開完了

福島県：2022年から導入開始（139店舗）
福島市：63店舗、郡山市：76店舗

お客様参加型の取り組みで資源循環を推進

セブンプレミアム 一（はじめ）緑茶

世界初：特定流通グループ内でのリサイクル～商品販売

© SEVEN-ELEVEN JAPAN CO.,LTD.

明日の笑顔を 共に創る

プラ対策

セブンカフェの取り組み

株式会社 セブン-イレブン・ジャパン

カップ

本体：間伐材配合紙

ふた・本体：
リサイクル原料
ストローレスふたの採用

マドラー

本体：木製、外袋：紙製

ストロー

バイオマス原料配合
サイズ変更

間伐材配合紙

コーヒーフィルター

バイオマス原料の
麻使用

アディティブス

・スティックシュガー
・シロップ
・コーヒーフレッシュ

本体：リサイクル
原料使用。一部サイズを
変更しプラスチックの
使用量削減

カップ	ふた
	2016年 リサイクル原料1%含有
2017年 リサイクル原料1%含有	
2018年 リサイクル原料5%含有	2018年 リサイクル原料5%含有
	2019年 ストローレスふたの採用
	2020年 ストローレスふたの軽量化
2021年 リサイクル原料10%含有	2021年 リサイクル原料10%含有
2024年 軽量化カップ採用	

小さな改善を続けながら、環境にやさしい商品の提供を目指しています

© SEVEN-ELEVEN JAPAN CO.,LTD.

環境にやさしく美味しい『水素焙煎コーヒー』

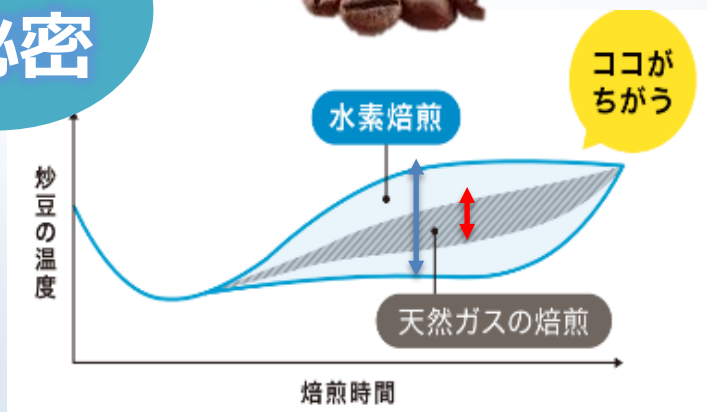
カーボンニュートラルな世界の実現への取組み

**飲みごたえを保ちながら
すっきりとした後味**

定番ブラックの苦味が**苦手な人に最適！**
（飲みやすさ・香り・コク）

美味しさの秘密

7カフェ豆の美味しさをもっと引き出したい



一つの答えが【焙煎温度】

焙煎温度の調節幅が広い

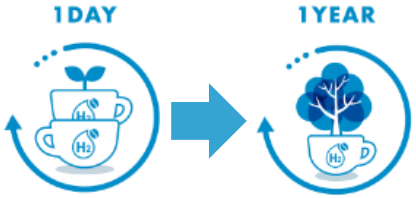
水素は、化石燃料にかわる
次世代のクリーンエネルギー

7カフェブラックとの比較

雑味、苦味▶ブラックより少ない

※UCC官能員
5人による味覚調査

毎日2杯飲むと
年間に植林1本分の
CO2排出削減効果



是非、お試し下さい！

© SEVEN-ELEVEN JAPAN CO.,LTD.

明日の笑顔を 共に創る

持続可能な調達：コーヒー豆生産国への支援

産地国が抱える課題に対し、支援を行っています。

© SEVEN-ELEVEN JAPAN CO.,LTD.

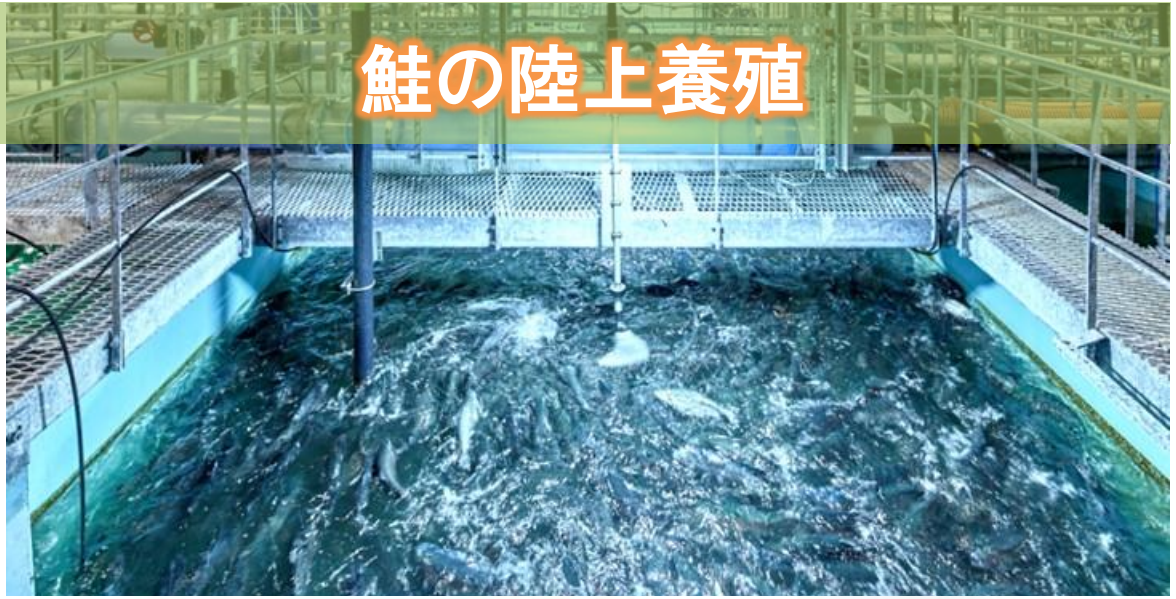
明日の笑顔を 共に創る

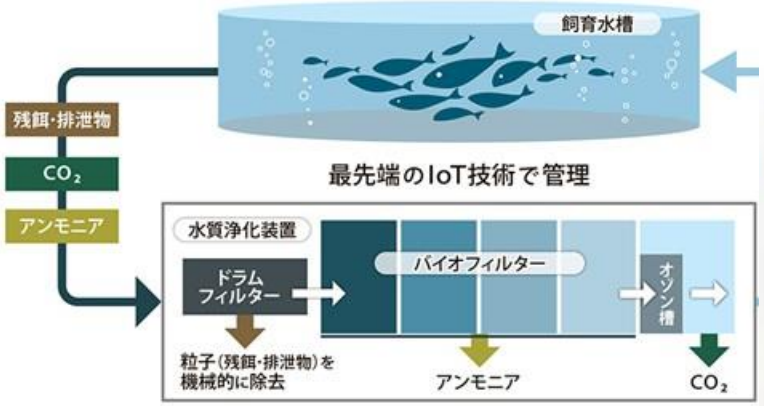
持続可能な調達：陸上養殖・植物工場

株式会社 セブン-イレブン・ジャパン

環境負荷の低減と安定的な生産を実現する原材料の採用を始めています。

鮭の陸上養殖





レタスの植物工場（田村市）

© SEVEN-ELEVEN JAPAN CO.,LTD.

地域・サプライチェーンと共に歩む脱炭素社会の実現

■オープニング

■第1章 「セブン-イレブン店舗の脱炭素」

■第2章 「サプライチェーンの脱炭素」

■第3章 「地域と共に歩む」

© SEVEN-ELEVEN JAPAN CO.,LTD.

福島での食を通じた連携

株式会社 セブン-イレブン・ジャパン

県の食文化発信　優良原材料/GAP応援　地区優良メーカーとの連携

ふくしま。GAPチャレンジ

22年4月～

GAP認証野菜を使用した商品を販売

2022年GAP普及大賞を受賞

Good Agricultural Practice： よい農場の在り方
食の安全、生産者の安全、環境保全を認められた農場に与えられる

ふくしまプライド。

23年7月～

応援フェアを開催(5回)

売上の1%を福島県へ寄付※
※ 2024年から

明日の笑顔を 共に創る

© SEVEN-ELEVEN JAPAN CO.,LTD.

セブンーイレブンの出張授業

株式会社 セブン-イレブン・ジャパン

セブンーイレブンの出張授業によるSDGs教育

須賀川市内　小学校

富岡町内　中学校

各校のSDGs教育状況に応じて、構成をカスタマイズ

© SEVEN-ELEVEN JAPAN CO.,LTD.

明日の笑顔を 共に創る

参加した生徒さんの感想文

わたしは、今日、SDGs学習で、SDGsについてと、セブンイレブンの取り組みについてのお話をしていただきました。わたしがすごいと思ったことは、セブンイレブンの、食品ロスや、食品リサイクルについての取り組みです。スムージーには、見た目のよくないブロッコリーを入れていたり、おにぎりやナゲットにも、豆を入れたりしたり、「すぐに食べるならてまえどり」などのカードをおいたりして、食品ロスをふせいでいてすごいと思いました。わたしも、食べのこしをしたり、食べ物を食べられないのによそったりしないようにします。

私は、今日SDGsの話を聞いて決めた自分の目標は、十三つ目の「気候変動に具体的な対さく」です。理由は、地球温だん化が問題になっていてその理由がCO2がふえているからで、そのCO2がふえる理由が電気を使うことです。私は、よく電気をつけっぱにするのでこれからは、電気をつけっぱにしないように気をつけたり、節電して生活したいと思いました。

© SEVEN-ELEVEN JAPAN CO.,LTD.

まとめ

- 次の50年を見据え、福島の皆様のお役に立てる存在である為、『経済的価値』と『社会的価値』の両輪で歩み続けます。

- 環境宣言『GREEN CHALLENGE 2050』の目標達成の為、脱炭素をはじめとした様々な社会課題の解決に向けて、加盟店と共に果敢にチャレンジしてまいります。

- 福島の皆様との共創を実現する為、皆様からの情報提供をお待ちしております。

© SEVEN-ELEVEN JAPAN CO.,LTD.

ご清聴ありがとうございました。

明日の笑顔を 共に創る

セブン-イレブン

© SE